

## 調査結果の概要

### 1 幼稚園 (表1・2、図1参照)

幼稚園数は530園(国公立77園、私立453園)で、前年度と同数となっている。

園児数は67,959人(国公立5,162人、私立62,797人)で、前年度に比べ1,150人減(国公立7人減、私立1,143人減)となっており、平成元年度(83,317人)から年々減少している。

### 2 小学校 (表1・3・10、図1・2参照)

学校数は795校(国公立792校、私立3校)で、前年度と同数となっている。

児童数は297,741人(国公立296,058人、私立1,683人)で、前年度に比べ5,788人減(国公立5,845人減、私立57人増)となっており、昭和57年度(448,882人)をピークに漸次減少している。

また、平成11年度間の30日以上長期欠席者は3,569人で、前年度に比べ182人増となっており、全児童数に占める比率は1.18%である。理由別では、「病気」が68.9%で「不登校」は22.0%である。

なお、50日以上長期欠席者については、今年度から調査項目が削除された。

### 3 中学校 (表1・4・10、図1・2参照)

学校数は379校(国公立350校、私立29校)で、前年度と同数(国公立1校減、私立1校増)となっている。

生徒数は169,779人(国公立162,310人、私立7,469人)で、前年度に比べ8,017人減(国公立7,695人減、私立322人減)となっており、昭和62年度(229,846人)から年々減少している。

また、平成11年度間の30日以上長期欠席者は5,635人で、前年度に比べ30人増となっており、全生徒数に占める比率は3.17%である。理由別では、「不登校」が72.4%で「病気」は22.7%である。

なお、50日以上長期欠席者については、今年度から調査項目が削除された。

図1 年度別園児児童生徒数

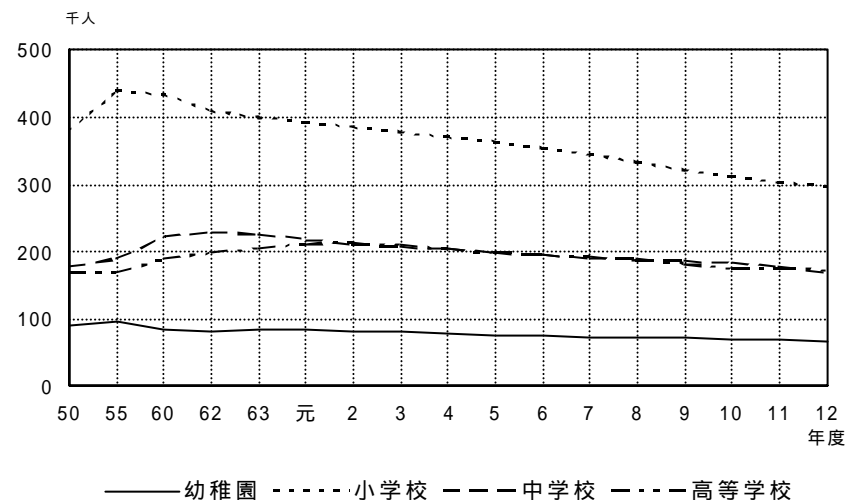
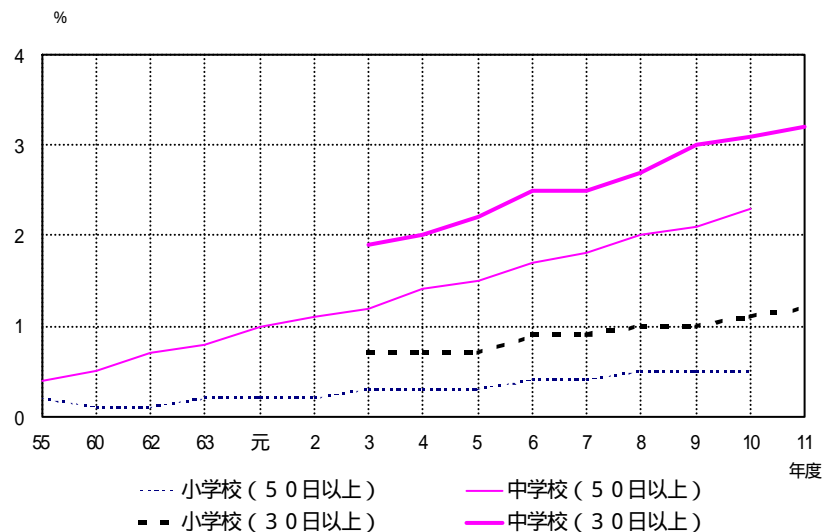


図2 理由別長期欠席者数の比率



#### 4 高等学校（表1・5、図1参照）

学校数は186校（公立124校、私立62校）で、前年度と同数となっている。

生徒数は173,118人（公立全日制100,742人、私立全日制68,295人、公立定時制3,390人、専攻科691人）で、前年度と比べ2,410人減（公立全日制1,874人減、私立全日制628人減、公立定時制66人増、専攻科26人増）となっており、平成2年度（213,446人）から年々減少している。

#### 5 盲・聾・養護学校（表1参照）

学校数は40校（盲学校4校、聾学校5校、養護学校31校）で、前年度と同数となっている。

生徒数は3,552人（盲学校172人、聾学校264人、養護学校3,116人）で、前年度に比べ83人増（盲学校4人増、聾学校16人増、養護学校63人増）となっている。

#### 6 専修学校（表6参照）

学校数は181校（国立6校、公立4校、私立171校）で、前年度に比べ2校増（私立）となっている。

生徒数は44,976人（男21,352人、女23,624人）で、前年度に比べ1,461人増（男633人増、女828人増）となっている。構成比は、男47.5%、女52.5%となっている。

#### 7 各種学校（表7参照）

学校数は66校（公立3校、私立63校）で、前年度に比べ2校減（私立）となっている。

生徒数は8,589人（男4,703人、女3,886人）で、前年度に比べ459人減（男288人減、女171人減）となっている。構成比は、男54.8%、女45.2%となっている。

#### 8 中学校卒業後の状況（表8・11参照）

卒業者総数は61,472人で、前年に比べ1,442人減となっている。卒業者の内訳は、高等学校等進学者59,475人、専修学校高等課程進学者152人、専修学校一般課程等入学者157人、公共職業能力開発施設等入学者86人、就職者は就職進学者・就職入学者の24人を含め499人、左記以外の者等1,127人となっている。

進学率は96.8%（男96.3%、女97.2%）となっており、前年より0.3ポイント上昇している。

就職率は0.8%（男1.3%、女0.3%）となっており、前年より0.2ポイント低下している。

注：1 就職進学者とは、就職しながら高等学校本科及び別科、高等専門学校、専修学校高等課程、盲・聾・養護学校高等部の本科及び別科へ進学した者をいう。

2 就職入学者とは、就職しながら専修学校一般課程等、各種学校、公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。

#### 9 盲・聾・養護学校卒業後の状況（表14・15参照）

卒業者総数は中学部296人・高等部453人で、前年に比べ中学部55人増・高等部71人増となっている。卒業者の内訳は、中学部は高等学校等進学者279人、専修学校高等課程進学者1人、就職者1人、左記以外の者等15人、高等部は大学等進学者22人、公共職業能力開発施設等入学者5人、就職者87人、左記以外の者等339人となっている。

進学率は中学部94.3%・高等部4.9%となっており、前年より中学部で4.7ポイント、高等部で1.5ポイント上昇している。

就職率は中学部0.3%・高等部19.2%となっている。

**10 高等学校卒業後の状況**（表9・12・13、図3・4参照）

卒業生総数は 55,468 人で、前年に比べ 1,268 人減となっている。卒業者の内訳は、大学等進学者 24,810 人、専修学校専門課程進学者 9,189 人、専修学校一般課程等入学者 5,680 人、公共職業能力開発施設等入学者 212 人、就職者は就職進学者・就職入学者の 255 人を含め 9,781 人、左記以外の者等 6,051 人となっている。

進学率は 44.7%（男 43.6%、女 45.9%）となっており、前年と同ポイントとなっている。

就職率は 17.6%（男 20.4%、女 14.9%）となっており、前年より 1.9 ポイント低下し過去最低。

また、県外へ就職した者は 1,311 人で就職者の 13.4%を占めており、前年度より 3.6 ポイント低下している。就職先を産業別にみると、製造業が 2,639 人（26.9%）と最も多く、次いでサ - ビス業 2,606 人（26.6%）、卸売・小売業、飲食店 1,858 人（19.0%）等となっている。

- 注：1 就職進学者とは、就職しながら大学・短期大学の本科・別科及び通信教育、専修学校専門課程、高等学校専攻科、盲・聾・養護学校高等部専攻科へ進学した者をいう。
- 2 就職入学者とは、就職しながら専修学校一般課程等、各種学校、公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。

図3 高等学校卒業後の進学率・就職率

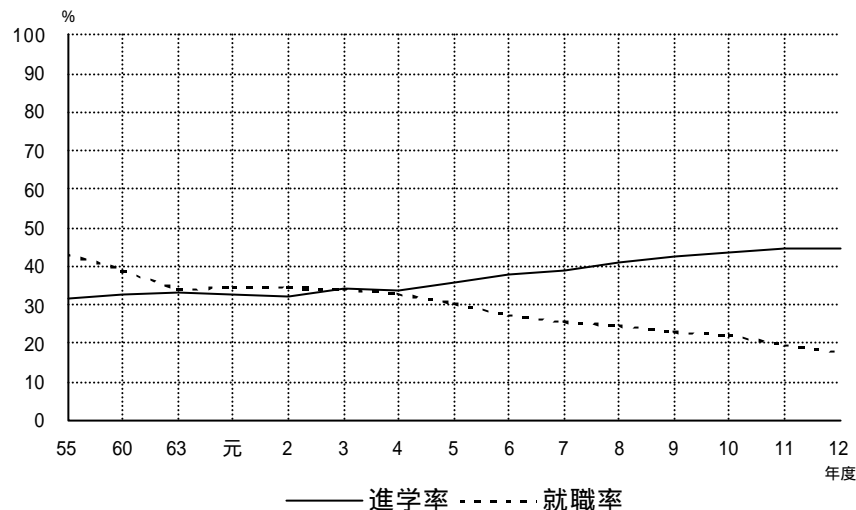
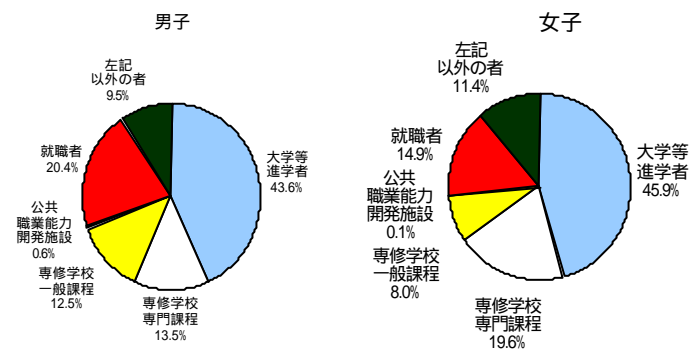


図4 男女別高等学校卒業後の状況



就職者には就職進学者及び就職入学者は含まれない

# 平成12年度学校基本調査

## 結果速報

平成12年8月

福岡県企画振興部調査統計課

# 統 計 表

\*\*\*\*\* 利用上の注意 \*\*\*\*\*

統計表上用いた記号は次のとおりです

「 - 」 当該事実がないもの

「 ... 」 数値が不明なもの

## はじめに

学校基本調査は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、文部省が統計法（昭和22年法律第18号）に基づいて実施している指定統計調査（第13号）です。

この調査は、幼稚園から大学まで全国すべての学校について、5月1日現在で、その学校数、学級数、在学者数、教職員数等について調査するものです。（高等専門学校・短大・大学については、文部省調査）

このたび、県で集計した結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

なお、後日、文部省から公表される「学校基本調査報告書」が確定数となります。

## 目次

調査結果の概要	1
統計表 表 1 学校総覧（8～12年度）	4
表 2 市（区）町村別幼稚園教職員数（本務者）及び園児数	5
表 3 市（区）町村別小学校教職員数（本務者）及び児童数	12
表 4 市（区）町村別中学校教職員数（本務者）及び生徒数	19
表 5 市郡別高等学校教職員数（本務者）及び生徒数	26
表 6 設置者別専修学校生徒数	28
表 7 設置者別各種学校生徒数	28
表 8 市郡別中学校卒業後の状況	29
表 9 市郡別高等学校卒業後の状況	31
表 10 理由別長期欠席児童・生徒数	33
表 11 中学校卒業後の状況	34
表 12 高等学校卒業後の状況 A	36
表 13 高等学校卒業後の状況 B	38
表 14 盲・聾・養護学校卒業後の状況（中学部）	40
表 15 盲・聾・養護学校卒業後の状況（高等部）	40

本書の内容についての問い合わせは下記へお願いします。

福岡県企画振興部調査統計課教育統計係

TEL 092 651 1111（内線 2772・2773）

